

## 第4回徳島市水道局庁舎整備検討会議 議事録

日時 令和元年5月14日（火）午後2時00分～午後3時10分  
場所 徳島市水道局本庁舎4階 第1会議室  
出席者 委員8人、徳島市4人、水道局5人、事務局5人、梓設計2人

### 開会

### 事務局

会議次第の説明

### 「徳島市水道局庁舎整備基本計画（案）」について説明

第1章から第3章について水道局の説明 ー施設整備課長ー

### A 委員

7ページ図-1について500m圏内の円で示されているが、各建設候補地から徳島駅までの距離には差異がある。違いをはっきりと示すべきと思うがいかがか。

⇒駅からの道路距離について説明文を追加する。

### D 委員

5ページ（1）庁舎耐震化の必要性 の内容について、耐震補強と新築に関するコスト比較になっている。表題と内容の関係に違和感がある。耐震化の必要性を示すなら、耐震診断結果や液状化の対策について示すべきだ。

⇒表題及び本文を見直しする。また、必要な資料を添付するなど方法を考えたい

### D 委員

6ページ（2）建設候補地について、選定までの経緯が示されていない。庁舎整備基本計画の重要な部分であり、各候補地の前提条件等、もう少し丁寧に記載すべきだ。

### A 委員

同感である。建設地について多くの時間を費やし議論したと感じているがいかがか。

⇒第2回、3回の本検討会議資料を添付するか、本文で詳しく述べるかを検討し修正する。

### 会長

現位置以外の場所では建設することが不可能であった理由を示すべきである。

### 「徳島市水道局庁舎整備基本計画（案）」について説明

第4章から第6章について水道局の説明 ー施設整備課長ー

### C 委員

新庁舎の必要規模を4,000㎡と設定しているが、第4章に記載されている必要機能は全て網羅されているのか。この設定した規模で全てが可能なのか疑問が残る。

### H 委員

同感である。駐車場の規模についても設定されているが、平面駐車場で確保する場合には建築物

に制約が多くなると考えるが、検証できているのか。

⇒必要機能の内、資機材倉庫、駐車場、情報コーナーについては、設定した規模には見込んでいない。

#### H 委員

敷地面積を考えれば、設定した建築面積と駐車場を確保するためには、今後十分に検証する必要があることを意見する。

#### B 委員

15 ページで、4割の文書量削減を目標に掲げているが可能なのか。

⇒1人当たりの削減量を設定し整理することから始めたいと考えている。

#### D 委員

前回の会議では、必要規模を3,750㎡と設定していたが、4,000㎡に変更した理由について説明してほしい。

⇒防災機能を強化した。他都市からの支援を受け入れる面積を確保する目的で変更した。

#### D 委員

防災機能として必要なのであれば賛成だが、数量の変更には十分な説明が必要と考えている。注意してほしい。

#### G 委員

駐車場の規模について検討するために、1日の来庁者数や交通手段について調査は行っていないのか。

⇒来庁者数は調査しているが、交通手段は調査していない。

#### 「徳島市水道局庁舎整備基本計画（案）」について説明

第7章から第9章について水道局の説明 ー施設整備課長ー

#### C 委員

17ページの1階平面計画では、市役所との連携を図るために来庁者出入り口を南側にも設けているのか。

⇒現時点でのイメージであり、詳細な検討は今後進めていく予定である。

#### H 委員

事業スケジュールが記載されているが、埋蔵文化財調査には時間を要するので記載すべきではないか。

⇒調査には約6箇月必要と考えている。事業スケジュールに追加し記載する。

#### C 委員

19ページ①構造計画の、構造体Ⅱ類、建築非構造部材A類、建築設備甲類に決定した過程について説明してほしい。

⇒近年、庁舎を建設した近隣水道事業体を参考にした。

#### D 委員

耐震診断時の  $I_s$  値（構造耐震指数）とⅡ類、A類、甲類との関係について説明してほしい。  
⇒構造体Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類と関係がある。 $I_s$  値がⅠ類0.9、Ⅱ類0.75、Ⅲ類0.6以上あれば耐震性があると判断される。現庁舎はⅡ類で診断している。

#### D 委員

徳島市役所も同じⅡ類なのか。  
⇒市役所を建設した当時は、このような耐震安全性の分類は制定されていないので不明である。

#### D 委員

構造体の分類は、基礎構造（基礎杭）にも関係するのか。また基礎構造と建物とを全体で評価するのか、それぞれで別評価するのか。  
⇒基礎構造にも適用され、建物全体で評価する。

#### C 委員

現庁舎の基礎杭は撤去するのか。撤去するのであれば地耐力も変わると思うが検討しているのか。  
⇒5m程度の基礎杭がある。基礎杭の存置、撤去については今後の検討となる。

#### D 委員

現況の基礎杭では、大規模地震時の液状化に対応はできないのか。  
⇒対応できない。徳島市役所であれば30m以上の基礎杭が入っている。

#### C 委員

設定されている庁舎規模で建築した場合の階数はどれくらいか。  
⇒現庁舎（4階）以上となることは想像しているが、現時点では検討できていない。

#### E 委員

18ページ図-3で、会議室を最上階に設けている。会議室は災害時の拠点となることが多い。停電も想定して、階段で会議室まで移動することも考えておくべきだ。  
⇒考慮して詳細な計画を進めていく。

#### E 委員

水道局の公用車も大切である。津波等の浸水対策を考えておくべきだ。  
⇒計画敷地との関係もあるが、検討する。

#### E 委員

緊急貯水槽の設置位置についても浸水対策を考えておくべきだ。  
⇒前面道路に埋設されている配水管口径との関係性から、緊急貯水槽は考えていない。受水槽に蓄えた水を確保する方式を考えている。設置位置については浸水対策を考慮した位置にしたい。

#### E 委員

検討会議の論点からは外れるが、倉庫機能を持った前川分庁舎（旧館）を建て替える場合においても、浸水対策を十分考慮することをお願いしたい。

## A 委員

基本設計時に検討すべき事項となるが、建物の高さについては5階程度の圧迫感が少ない庁舎であることを希望する。

⇒おおよそ6階以上となれば、前面道路との関係から高さ制限が適用される。

## D 委員

概算事業費には、仮設庁舎が計上されているのか。

⇒仮設庁舎の建設は考えていない。市有施設を活用したいと考えている。

## C 委員

上下水道事業を統合した庁舎となるのであれば、お客様は1階窓口で上下水道両方の手続きが可能となるのか。

⇒来客者が多い部署はできるかぎり集約したいと考えている。

## D 委員

情報コーナーには、水道事業の広報を考えていくのか。具体的な考えはあるのか。

⇒詳細については、今後検討したい。

## 会長

建設予定地の津波想定は1～2mである。近隣で計画中である徳島中央警察署等も参考に研究して計画を進めてほしい。津波が起ると必ず火災も伴ってくる。耐火性も重要であり、市役所と水道局の両方が被災するようなことは絶対にあってはならない。これから基本・詳細設計と進めると思うが、防災機能面に優れた建物として紹介されるような庁舎が建設されることを期待している。

以上で、議論は終了としたい。

## 事務局

【徳島市水道局庁舎整備基本計画書】の確認について作成でき次第、配布するので確認をお願いしたい。

## 会長

水道局が平常時・災害時を問わず、安全で安心なおいしい水を市民に届けるために、BCP（事業継続計画）の策定をお願いする。庁舎整備等のハード面と合わせてこうしたソフト面についても検討を進めてほしいと考えている。今後も協力できることがあれば引き受けたいと思っている。

委員の皆様には、熱心に御議論いただいたことにお礼を申し上げ終わりたい。

## 水道局

水道事業管理者から閉会の挨拶

## 閉会